

24 赤坂溜池タワーレジデンス

Photos_Satoshi Nagare
Text_Seishi Isozaki
Edit_RCKT/Rocket Company*

MORI LIVINGの家の鍵

利便性・安全性・快適性、すべてが揃う都心の隠れ家

外資系金融企業が集中する国際色豊かなビジネス街であり、アーキヒルズや赤坂サカスを有するカルチャー発信地としての顔も持つ赤坂・溜池。活気あふれる商業エリアとして発展を続ける一方で、風格ある住宅街としての歴史も刻んできた街である。徒歩数分圏内に地下鉄3路線の駅があり、ターミナル駅や空港へのアクセスも抜群によりこの街の高台にそびえるのが『赤坂溜池タワー』。躯体に2種類の制震装置を組み込むことで安全で快適な執務・居住空間を確保した、地上25階建ての複合ビルだ。「坂を下れば魅力的なお店やレストランが並ぶ通りがいくつもあるし、駅が近いのでどこに行くにも便利。それなのに建物の中はとて静かで、落ち着いて生活できる場所が気に入っています」。そう話すのは、3年前からこのタワーの上層階を占める賃貸レジデンスに住むヴィニシウスさんとクリスタさん。「ファシリティーもサービスも申し分なく、文句のつけようがありません」と、満面の笑みを見せる。

ブラジル出身のヴィニシウスさんとエストニア出身のクリスタさんは、ジュネーブで出会って結婚。その1年後にヴィニシウスさんが東京に赴任することが決まり、『赤坂溜池タワーレジデンス』に移り住んだ。先に来日したヴィニシウスさんは、30件以上の物件を見て回った後、「耐震性やセキュリティなど、安全面で信頼できる森ビルの物件に絞って検討しました」と明かす。「次々と素敵な物件の写真が送られてきて、『早く東京へ行きたい』という気持ちがかぶらんでいきました」と、クリスタさん。「言葉も文化もまったく異なる遠国に行くわけですし、震災や原発事故のことも少し心配だったので、こんな素敵なところに住めるんだと思ったら、もうあとはワクワクするだけでした」。

実際に住んでみて、不安要素はいっさいなくなったと、夫妻は口を揃える。英語が堪能でフレンドリーなフロントスタッフが24時間体制で生活をサ



ードウやハーブなどの緑が生い茂る居住者専用のルーフガーデンでは、バーベキューも楽しめる。

ポートしてくれるし、部屋で何か不具合があっても、10分後には設備スタッフが駆けつけてくれる。最上階にあるフィットネスルームで汗を流したり、緑豊かなルーフバルコニーに出向いたりして、棟内いながらリフレッシュできるのもうれしいという。「それに、私たちの寝室から富士山が見えるんです！特に冬場、雪化粧した富士山は本当にきれいで感動しました。泊まりに来る家族や友人も、この景色を楽しみにしているんですよ」。

前任地のジュネーブでは家具付きのアパートに住んでいたが、東京には数年は住む予定で来たので、「自分たちの家」を作るつもりでインテリアをコーディネートしてきたという2人。でも未だ100%満足いく状態にはなっていないのだと打ち明ける。「彼はリビングに自分が撮った写真や私が描いた絵を額装して飾りたいようなのですが、私はもう少し時間をかけて考えたいので、ちょっと待ってもらっています」と、クリスタさん。「タイで購入した大きな絵が加わって、またコーディネートが難しくなってしまったの」と言いつつ、その表情は「そうして悩みながら、ここを自分たちの色に染めていくのが楽しくて仕方ない」ことを物語っていた。

左・最上階にあるガラス張りのフィットネスルーム。夜も美しい景色を見ながらトレーニングできる。
右・エレベーターホールに隣接するフロントロビーは、和のテイストを取り入れたモダンな空間。



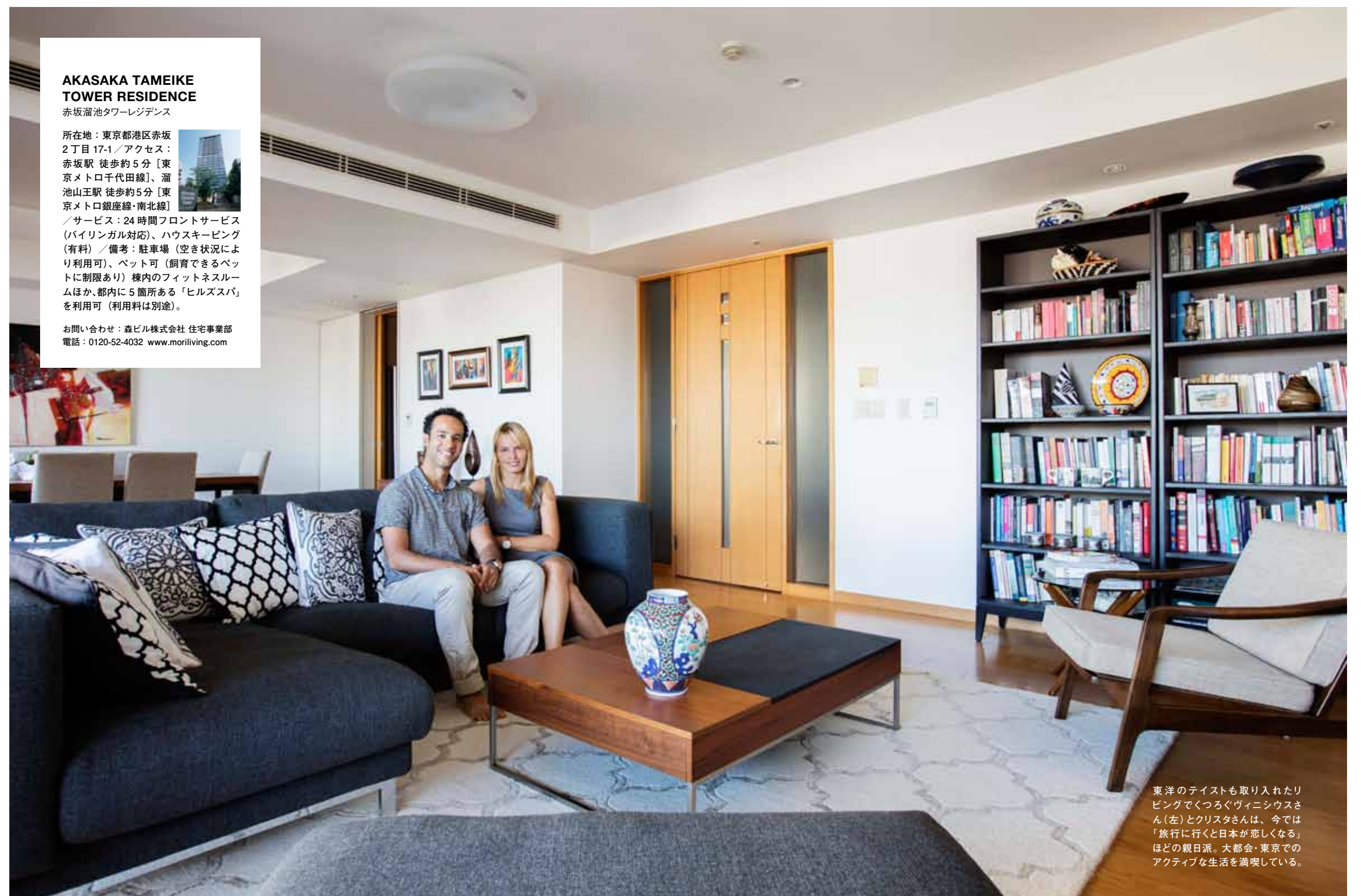
アートが共通の趣味という2人は、絵画やオブジェをセンス良く配置。コーナーごとに個性の異なるアート作品を飾って楽しんでいる。

バルコニーに面した明るいダイニングルーム。同じアーティストの絵をリビング側の壁にも掛けて、空間に統一感を出している。

AKASAKA TAMEIKE
TOWER RESIDENCE
赤坂溜池タワーレジデンス

所在地: 東京都港区赤坂
2丁目17-1 / アクセス:
赤坂駅 徒歩約5分 [東京
メトロ千代田線]、溜
池山王駅 徒歩約5分 [東
京メトロ銀座線・南北線]
/ サービス: 24時間フロントサービス
(バイリンガル対応)、ハウスキーピング
(有料) / 備考: 駐車場 (空き状況によ
り利用可)、ペット可 (飼育できるベッ
トに制限あり) 棟内のフィットネスル
ームほか、都内に5箇所ある「ヒルズスバ
」を利用可 (利用料は別途)。

お問い合わせ: 森ビル株式会社 住宅事業部
電話: 0120-52-4032 www.moriliving.com



東洋のテイストも取り入れたリビングでくつろぐヴィニシウスさん(左)とクリスタさんは、今では「旅行に行く日本が恋しくなる」ほどの親日派。大都会・東京でのアクティブな生活を満喫している。